

日本ソーシャル・イノベーション学会 第4回(2022年度)年次大会
【A:研究・実践報告】

■11月26日(土) 14:00-15:30

A モデレーター 山口 洋典(立命館大学 共通教育推進機構 教授)

会場:KMB201

包摂とイノベーションの拠点となる「ブレンドिंग・コミュニティ型地域の居場所」の実践と場づくり	佐野 淳也
地域の居場所における歴史的役割の分析 —京都市の事例より—	小辻 寿規
行政委託と民間事業によるブレンドिंग・コミュニティの相違 —「芝の家」と「こまちがらす」の事例研究を通じて—	瀬上 倫弘

B モデレーター 井口 貢(同志社大学 政策学部 教授)

会場:KMB208

主体的な学びを創発する場づくりの実践に関する研究 —PaKT Osakaの「リベラルアーツ勉強会」の事例から	西口 優毅
サードプレイスとしての民泊の可能性 —大学生を対象とした調査から—	小林 和子
地域に学ぶ教育の方法論 —近代教育方法との比較に基づく価値共創への試論	飯塚 宜子

C モデレーター 依田 真美(相模女子大学大学院 社会起業研究科 教授)

会場:KMB204

超高齢社会における地域コミュニティのデザイン —自治会・町内会と企業の共創—	西堀 正
市民後見人と起こすソーシャルイノベーション —あかし後見基金プロジェクト—	香山 芳範 (オンライン発表)
子どもの空間をつくるための提案 —夏休みこどもの家の実践から—	内山 悠

■11月26日(土) 15:45-16:45

D モデレーター 畑本 裕介(同志社大学 政策学部 教授)

会場:KMB201

支援を必要とする子育て家庭に支援物資を届ける「きょうとこどもみらい笑顔便」	豊田 恵美
マインドフルネスによる成員の弱さを包摂するつながり形成 —社会福祉法人3社の事例—	依田 真由美

E モデレーター 今里 滋(同志社大学・九州大学名誉教授)

会場:KMB204

社会運動に無関心な社会で、どのような社会運動の実践が参加者を集められるのか？ —日本の性暴力反対運動フラワーデモの事例をもとに	鎌田 華乃子
若年女性の生きづらさとその回復について —「わかくさりビング」の活動から考える	北川 美里